

2019年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2019年2月1日@ステーションコンファレンス東京

7741.T [ADR: HOCOPY US] HOYA株式会社

1. 決算概要 [代表執行役CFO 廣岡 亮]

2. 情報・通信事業概況

3. ライフケア事業概況

4. 総括

5. 質疑応答

業績概況

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益	1,368	1,434	+67	+5%
税引前四半期利益	347	397	+50	+14%
四半期利益	277	331	+54	+20%
cf. 通常の営業活動 からの利益	332	399	+67	+20%

売上収益、利益ともに過去最高を更新

為替換算の影響

(億円)	前期レート 換算(A)	当期レート 換算(B)	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益	1,458	1,434	-23	+90	+7%
税引前四半期利益	400	397	-3	+53	+15%
四半期利益	334	331	-3	+57	+21%

主要通貨	(A)Q3 FY17 レート	(B)Q3 FY18 レート	変動率
US\$	¥112.74	¥112.58	+0.1%(円高)
EURO	¥ 133.17	¥ 128.21	+3.7%(円高)
BAHT	¥ 3.43	¥ 3.42	+0.3%(円高)

特殊要因について

包括利益計算書

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY
売上収益	1,368	1,434	+67
金融収益	4	9	+5
その他の収益	23	8	-15
収益合計	1,394	1,451	+57
費用合計	1,047	1,054	+7
税引前四半期利益	347	397	+50

1 特許関連の和解金があった前年同期と比較し、15億円減少

2 為替差損が前年同期比で9億円増加したものの、費用の低減に努めたことにより費用全体では微増にとどまった

ライフケア事業 業績概況

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	901	939	+38	+4%
税引前四半期利益	170	191	+22	+13%
cf.通常の営業活動 からの利益	161	196	+35	+22%
cf. 同利益率	17.8%	20.9%	+3.1pt	

*外部売上の数値

ライフケア事業 業績概況(為替影響除き)

Q3 FY18業績の前期レート換算との比較

(億円)	前期レート 換算	当期レート 換算	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益*	960	939	-21	+59	+7%
税引前四半期利益	194	191	-3	+25	+15%
cf.通常の営業活動 からの利益	199	196	-3	+38	+24%

*外部売上の数値

情報・通信事業 業績概況

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	455	483	+28	+6%
税引前四半期利益	182	215	+33	+18%
cf.通常の営業活動 からの利益	182	216	+34	+19%
cf. 同利益率	39.9%	44.7%	+4.8pt	

*外部売上の数値

情報・通信事業 業績概況(為替影響除き)

Q3 FY18業績の前期レート換算との比較

(億円)	前期レート 換算	当期レート 換算	為替換算 影響額	実質 YoY	実質 YoY(%)
売上収益*	485	483	-2	+30	+7%
税引前四半期利益	216	215	-1	+34	+19%
cf.通常の営業活動 からの利益	217	216	-1	+35	+19%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

ヘルスケア関連製品 売上収益 メガネレンズ/コンタクトレンズ

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	673	693	+20	+3%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	708	693	+35	+5%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

メディカル関連 内視鏡 / 眼内レンズ

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	228	246	+18	+8%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	252	246	+24	+11%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

エレクトロニクス関連 マスク&ブランクス / HDD基板

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	343	383	+40	+12%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	383	383	+41	+12%

*外部売上の数値

サブセグメント別業績

映像関連製品
カメラレンズほか

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY	YoY(%)
売上収益*	112	100	-12	-11%

為替換算影響除き

(億円)	前期レート換算	当期レート換算	実質YoY	実質YoY(%)
売上収益*	101	100	-11	-10%

*外部売上の数値

貸借対照表

(億円)	Q2 FY18	Q3 FY18	QoQ
非流動資産	2,378	2,348	-31
流動資産	4,794	4,850	+56
資本	5,918	5,966	+48
非流動負債	160	156	-4
流動負債	1,094	1,075	-18
合計	7,172	7,198	+26

1 現金及び現金同等物 +200億円
その他の短期金融資産 -153億円

キャッシュフロー計算書

(億円)	Q3 FY17	Q3 FY18	YoY
営業活動によるCF	315	341	+26
投資活動によるCF	3	79	+77
財務活動によるCF	-367	-163	+203
現金及び現金同等物 期末残高	2,286	2,723	+437

1 自社株買い（262億円）があった前年同期と比較し、財務活動によるキャッシュアウトが大幅に減少

Q4 & 通期 予測

- ✓ Q4は、市場要因により映像が減収も、主にライフケアがけん引し、全体では堅調な売上成長となる見込み
- ✓ 海外子会社での減損があった前年Q4と比べ、大幅増益となる見込み

FY18 Q4

(億円)	Q4 FY17	Q4 FY18	増減	増減率
売上収益	1,359	1,397	+37	+3%
税引前四半期利益	262	337	+76	+29%
四半期利益	195	273	+78	+40%

FY18 通期

(億円)	FY17	FY18	増減	増減率
売上収益	5,356	5,640	+284	+5%
税引前当期利益	1,242	1,470	+228	+18%
当期利益	992	1,202	+210	+21%

1. 決算概要

2. 情報・通信事業概況 [執行役COO/CTO 池田 英一郎]

3. ライフケア事業概況

4. 総括

5. 質疑応答

情報・通信事業概況

売上増減率 (Like-for-Like)

+1%

HDDガラス基板

+27%

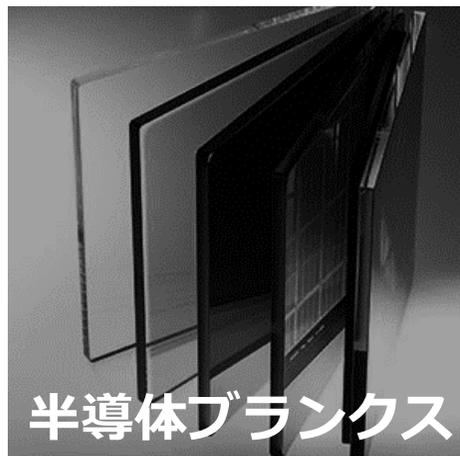
マスク&ブランク
(半導体/FPD)

-4%

映像

+8%

製品別概況

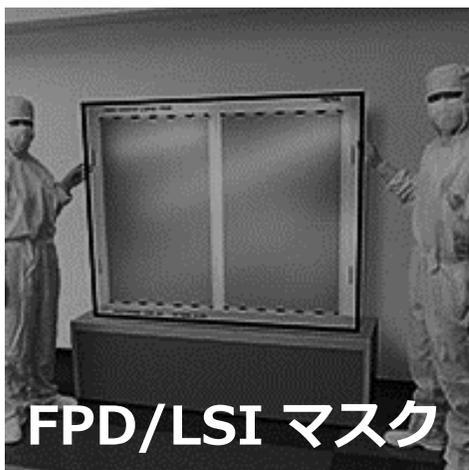


足元

旺盛な開発でEUVが前期比2倍を超える伸び、売上比率23%に。Opticalも先端品好調で増収

今後

本年中の量産開始を見据え、EUVは継続拡大Opticalも先端分野に注力し、成長を図る



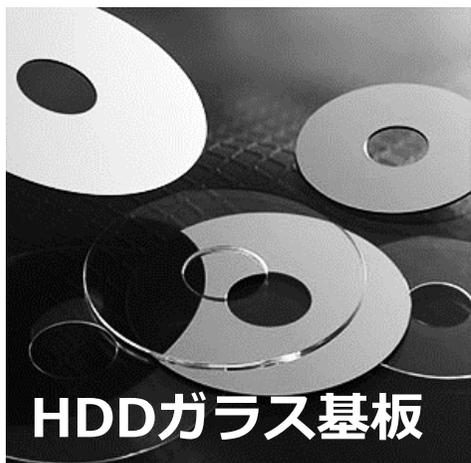
足元

中国市場の開拓、スマホ向けパネルのデザイン開発需要の取り込みにより増収

今後

引き続きG8以下の高精細マスクに注力デザイン開発の一巡や競争環境の変化を注視

製品別概況

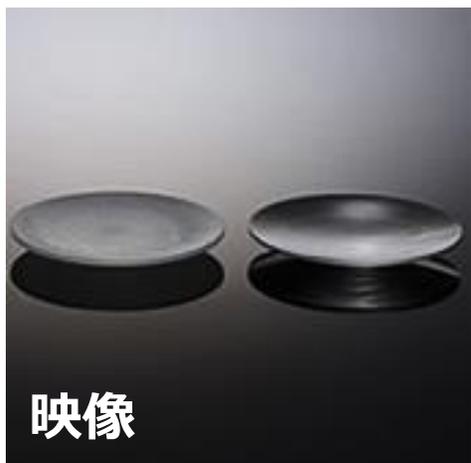


足元

2.5"はSSD侵食で減収。3.5"は前期比3倍近く
の増収、ガラス基板売上の19%に

今後

投資停滞中のデータセンター市場は、CY19下
期中に復調と予想、3.5"の一層の拡大に努める



足元

コンデジ市場の縮小、監視カメラ市場の調整に
より減収

今後

引き続き、新用途開拓と高付加価値化を推進

1. 決算概要

2. 情報・通信事業概況

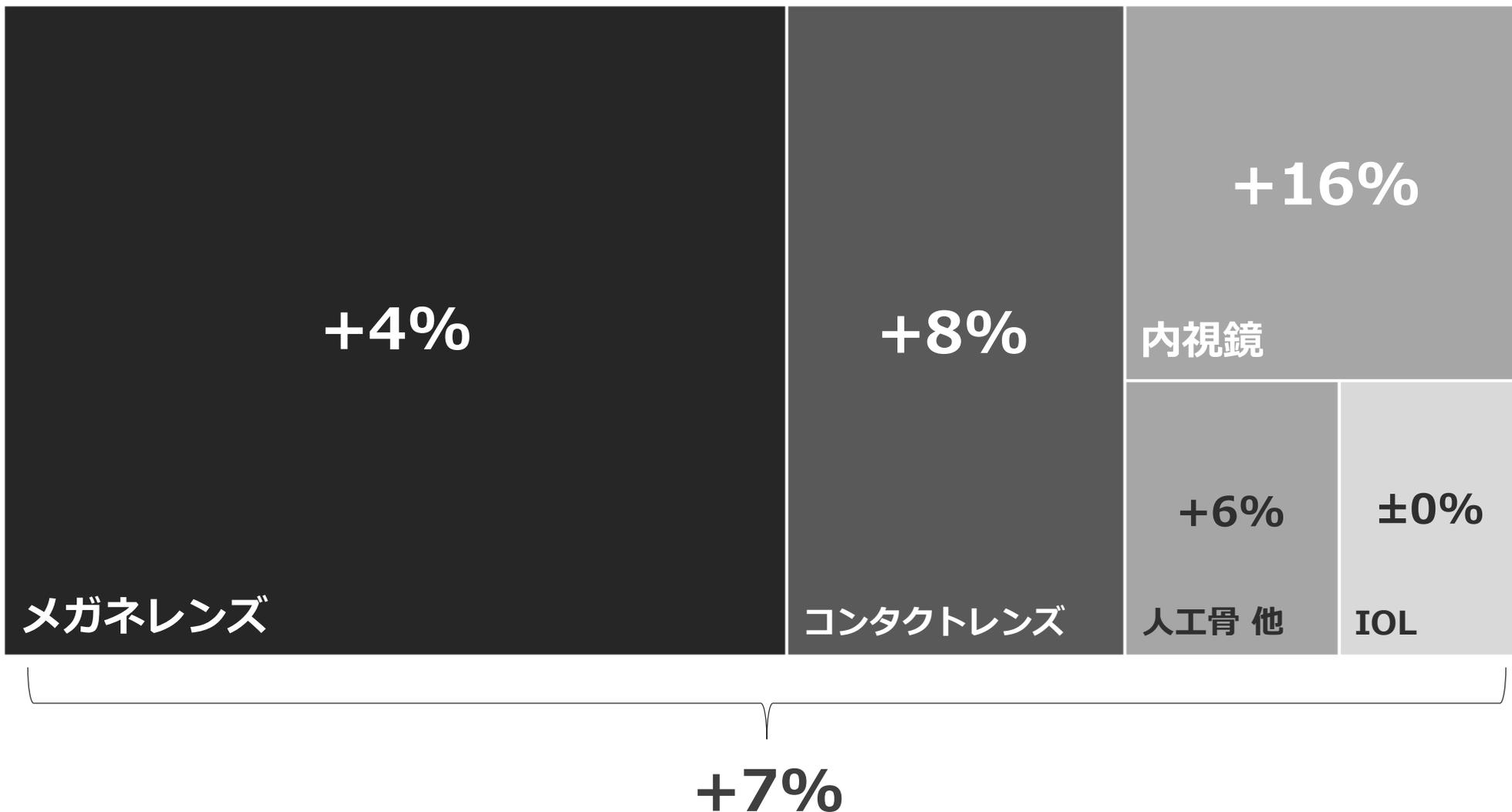
3. ライフケア事業概況 [代表執行役CEO 鈴木 洋]

4. 総括

5. 質疑応答

ライフケア事業概況

売上増減率 (Like-for-Like)



製品別概況



足元

独立店への販売が堅調な欧州、Performance Opticsがけん引した米州など、全地域で増収

今後

販売チャネルの拡大と物量増加を見据え、生産能力を増強予定



足元

新規出店加速、より優良な立地への出店に伴い4店舗閉店し、283店に（新規9/閉店4）

今後

ARPU上昇等による既存店売上成長ならびに新規出店により成長を持続させていく

製品別概況

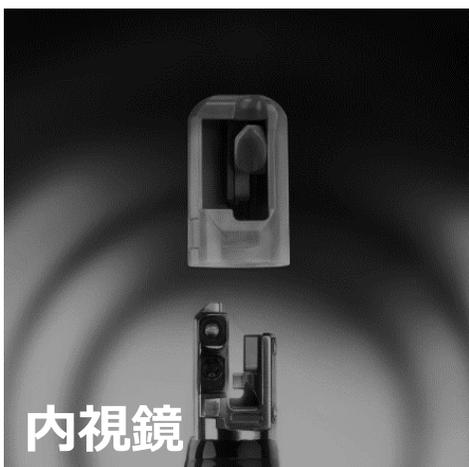


足元

APACが減収だったものの、日欧がけん引し、前年同期並みの売上を確保

今後

APACの早期復調を目指す。買収が完了したMid Labs/Fritz Ruckとの統合作業を進める



足元

新製品効果と販売体制強化により、欧米が好調増収効果により収益性も大幅に改善

今後

スコープ/プロセッサーとともに新製品を積極的に上市し、売上拡大を図る

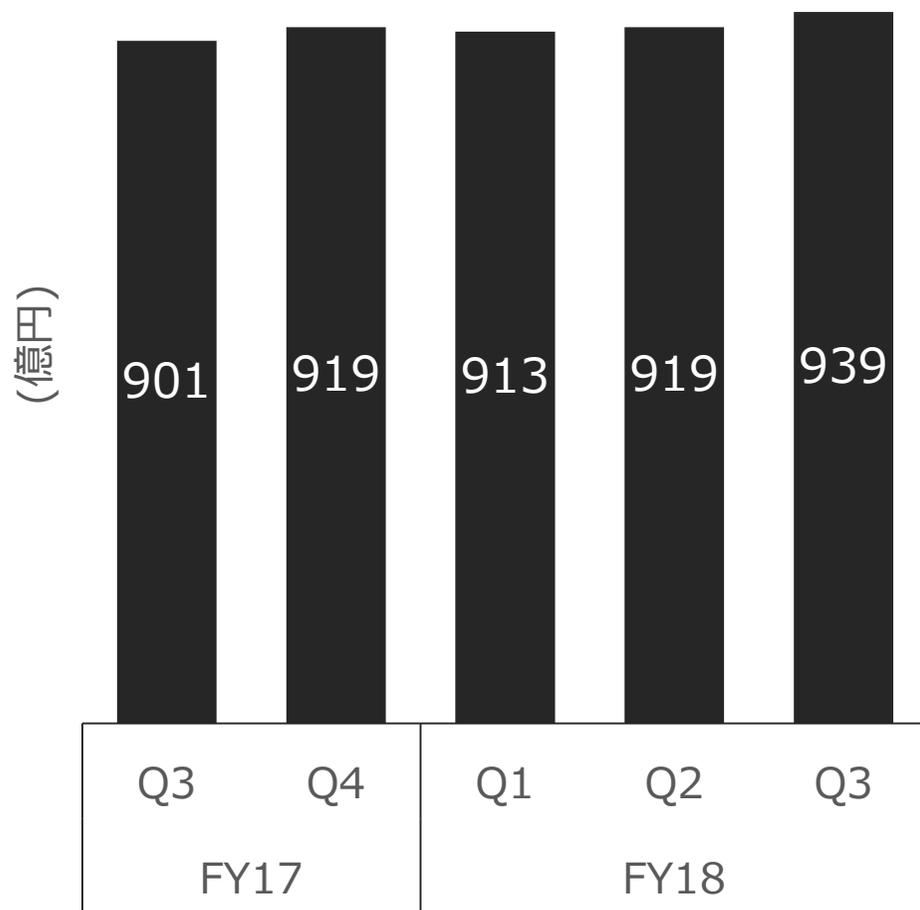
1. 決算概要
2. 情報通信事業概況
3. ライフケア事業概況
- 4. 総括 [代表執行役CEO 鈴木 洋]**
5. 質疑応答

1. 決算概要
2. ライフケア事業概況
3. 情報・通信事業概況
4. 総括
- 5. 質疑応答**

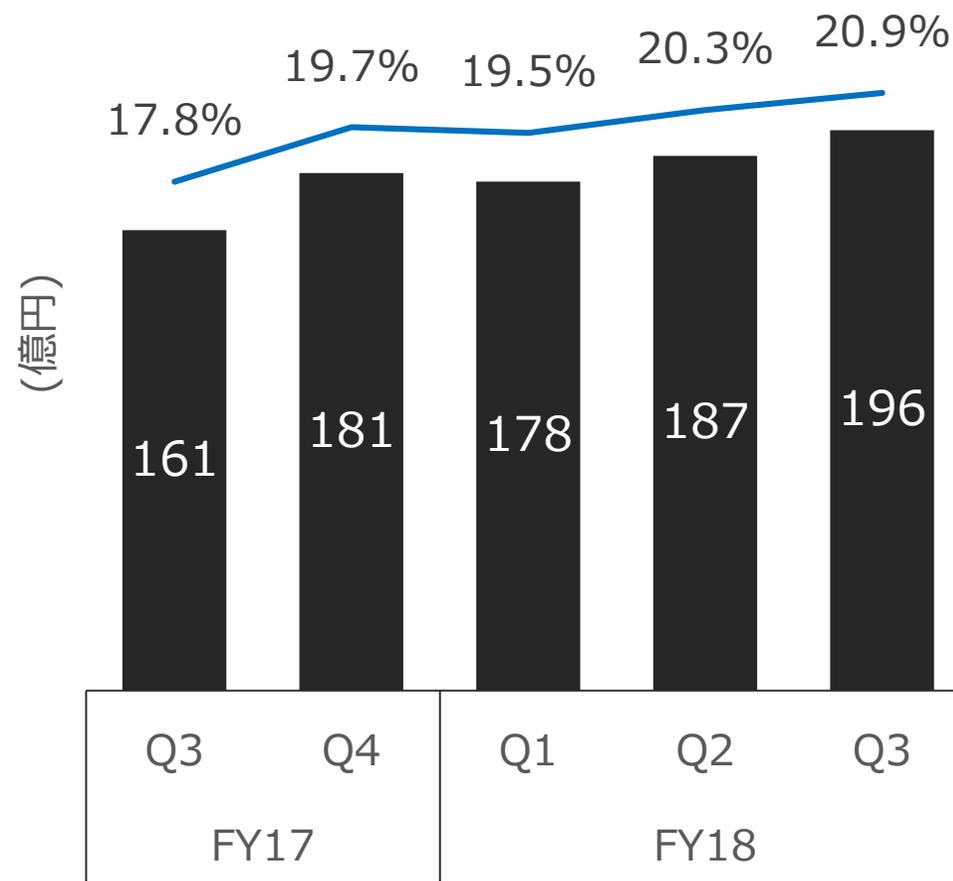
Appendix

ライフケア事業 QoQ推移

売上収益



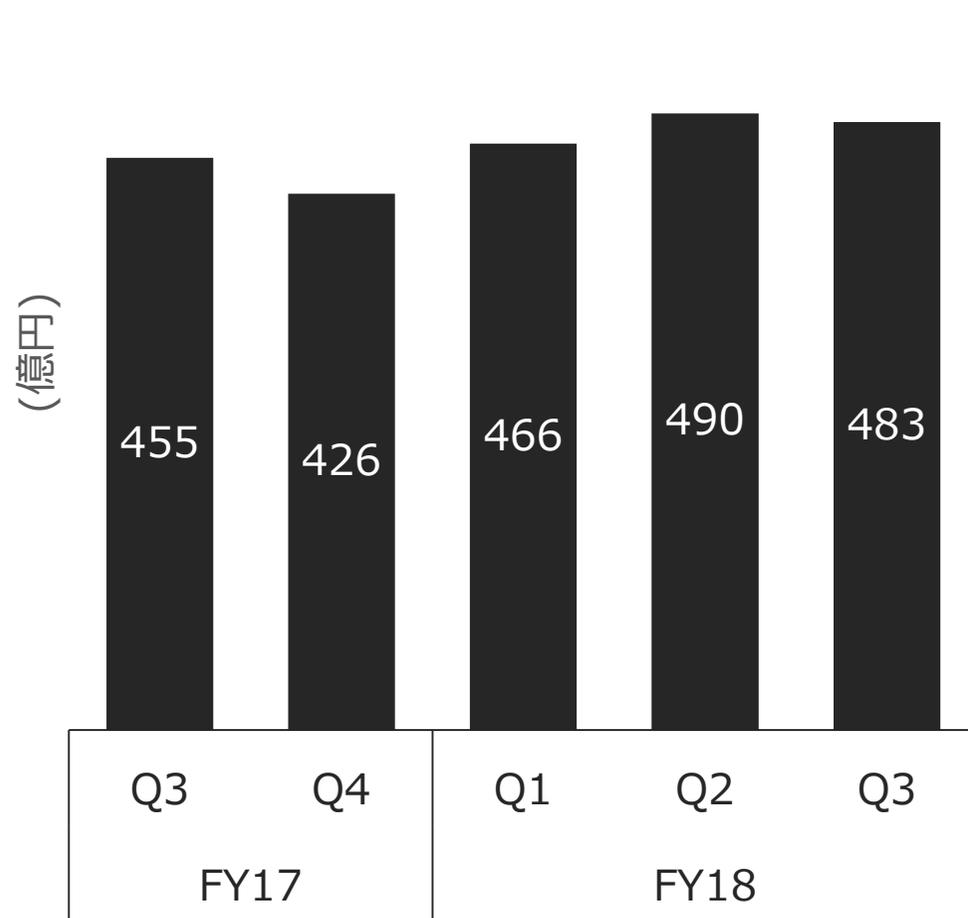
cf. 通常の営業活動からの利益 / 率



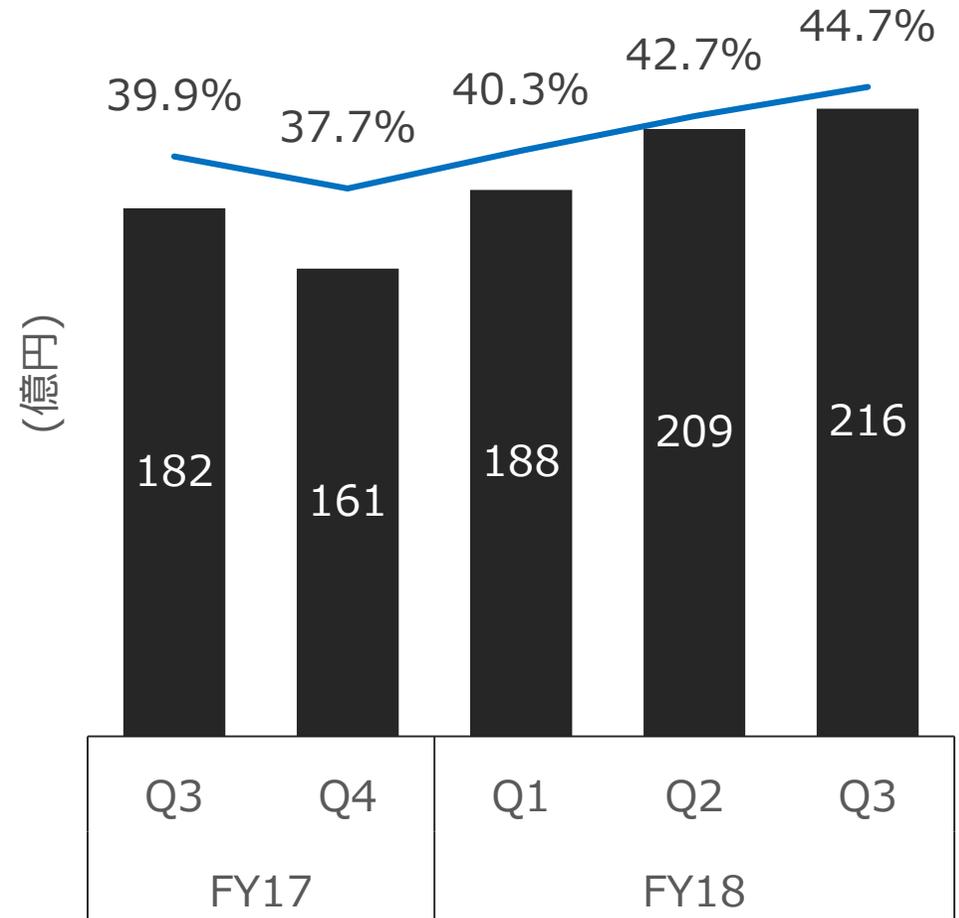
*外部売上の数値

情報・通信事業 QoQ推移

売上収益



cf. 通常の営業活動からの利益 / 率

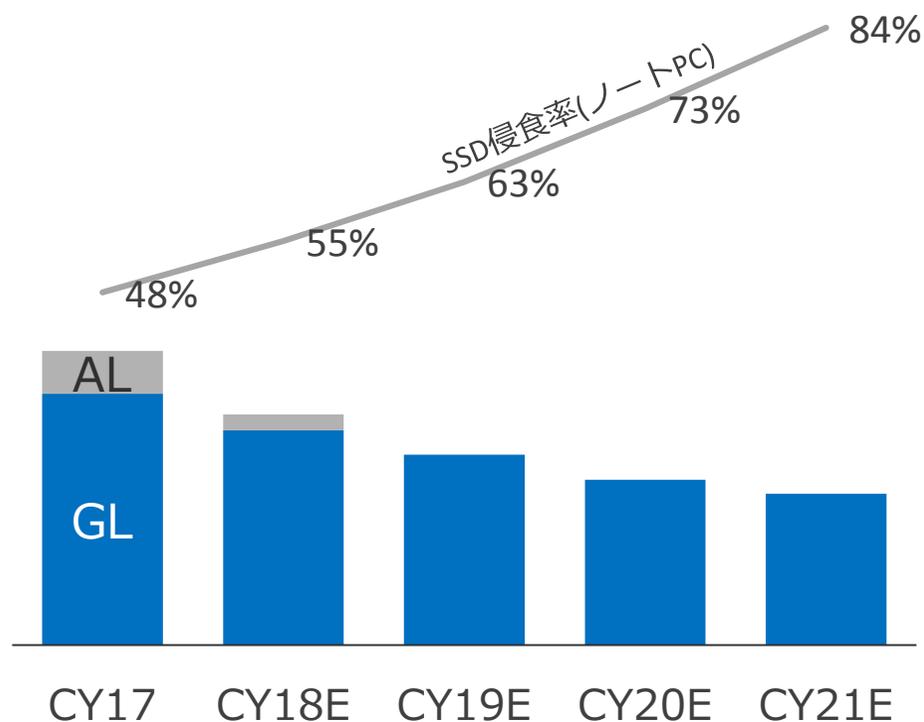


*外部売上の数値

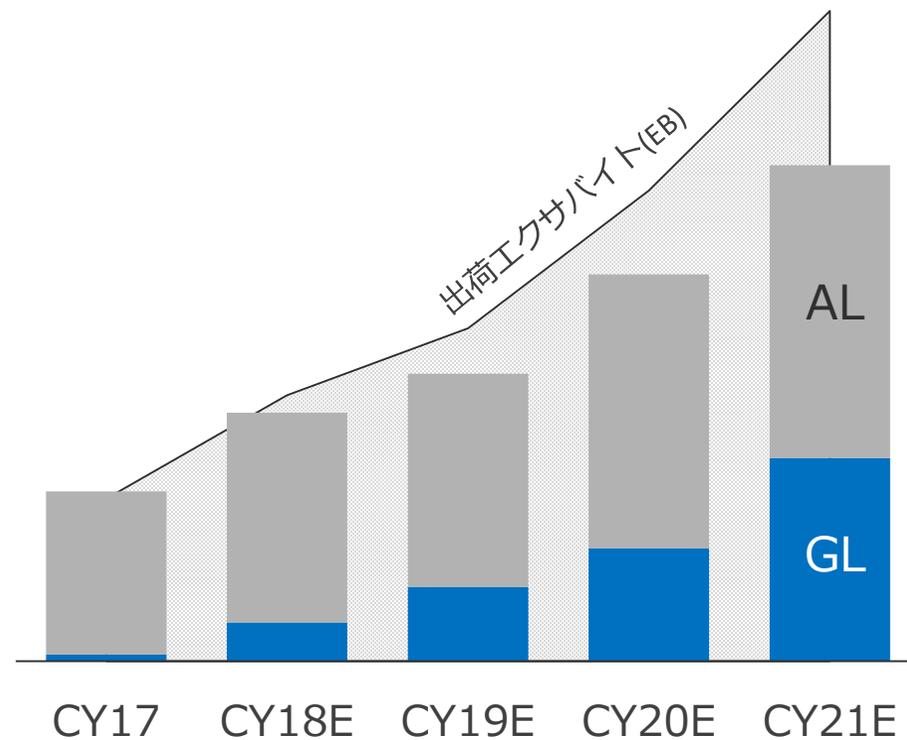
補足：HDDガラス基板の状況

- ✓ 2.5"基板市場（ノートPC等）は、SSDの侵食が一層進むと予想。なお、アルミ基板がFY19以降ほとんどなくなるなか、同市場での当社ポジションの一層の確立を図る。
- ✓ 2.5"と同等以上のデータセンター用3.5"基板市場は、需要に周期性（6～7四半期）があるものの、中長期の着実な成長を予想。ガラスの優位性によりシェア拡大を図る

2.5"基板市場



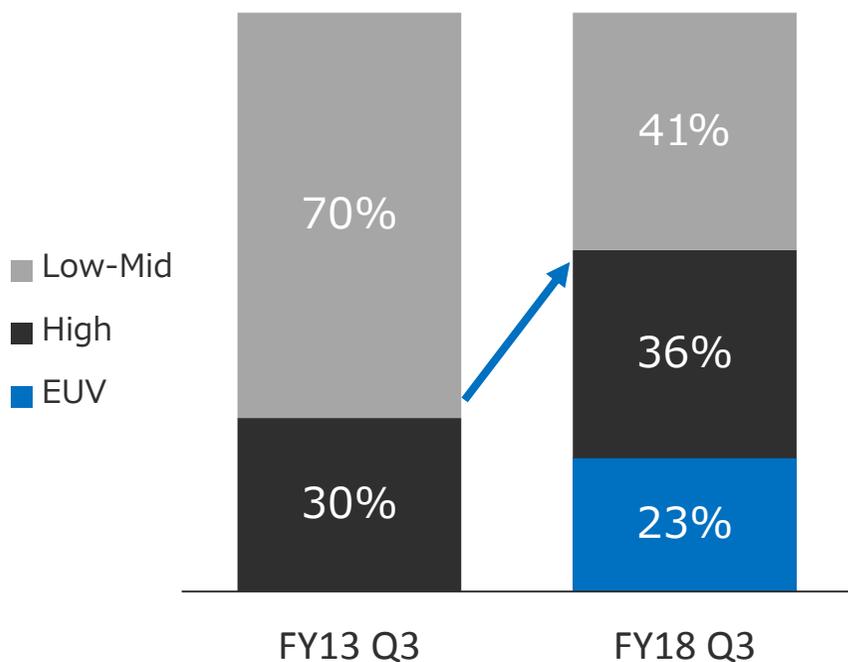
データセンター用3.5"基板市場



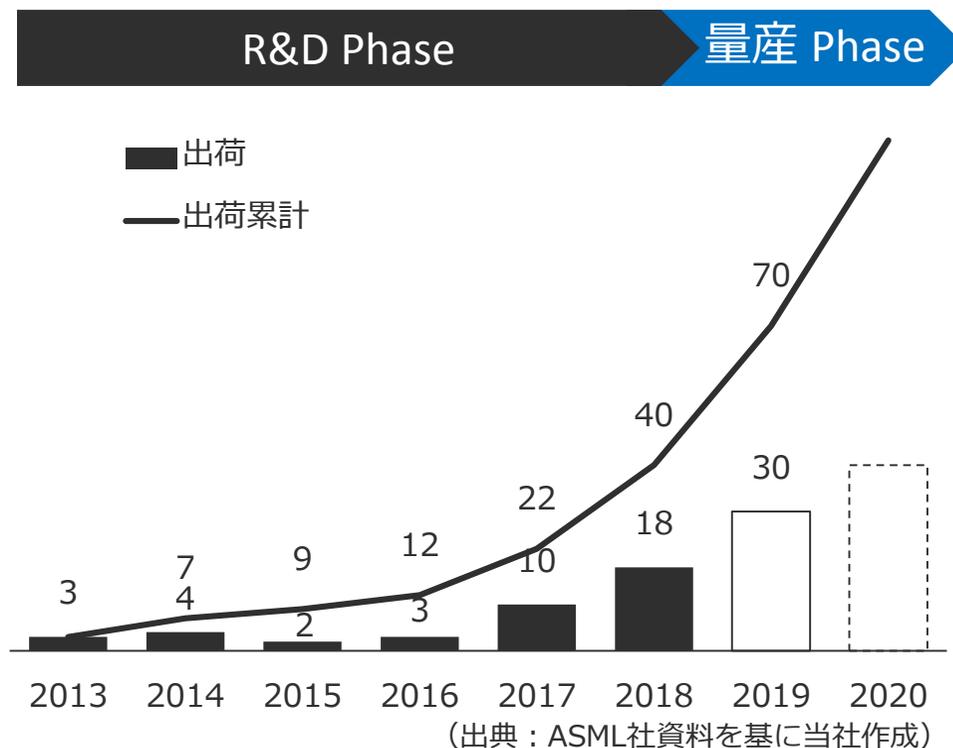
補足：EUVブランクス

- ✓ 当社半導体ブランクス売上における、ハイエンド比率は5年前は3割以下だったが、EUV売上の拡大により、現在は売上の6割が高付加価値製品となった。
- ✓ EUV露光機の出荷台数が順調に増加しており、また本年よりEUV露光による量産が本格化する予定であり、当社のEUVブランクスについても量産用途/研究開発用途ともに一層の拡大を図っていく

売上構成比の変遷(%)



EUV露光機出荷状況



補足：投資の状況

設備投資

3.5”HDD基板 新工場@ラオス

投資額: 約300億円

稼働開始時期: CY2020年上期

EUV blanks製造ライン@シンガポール

投資額 約250億円

稼働開始時期: CY2020年上期

メガネレンズ 新工場@ベトナム

投資額 約60億円

稼働開始時期: CY2020年はじめ

M&A

Mid Labs/Fritz Ruckの買収

買収額: 約195億円

状況: 2019年1月に買収手続きが完了。眼内レンズ事業とのシナジーを図るべく、統合プロセスを進めていく



本資料の表記について

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2018年4月～2019年3月の会計期間を2019年3月期もしくはFY18と表記しています。
- ✓ 第1四半期、第2四半期、第3四半期、第4四半期をそれぞれQ1, Q2, Q3, Q4と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ Like-for-Likeとは、為替換算影響やM&A効果、その他のイレギュラーな要素を除き比較した変動率を指します。
- ✓ 通常の営業活動からの利益は、税引前利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。

<http://www.hoya.co.jp/investor/kessan.html>

免責事項

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。当資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。